

「しれとこ 100 平方メートル運動における 2021 年度の岩尾別川の河川環境に改善に向けた取り組みについて」

斜里町・公益財団法人知床財団

しれとこ 100 平方メートル運動の生物相復元事業では、岩尾別川において、「かつて生息していたサクラマスへの復元」及び「カラフトマス・シロザケの自然産卵促進」、「河川環境の改善」について 1997 年より取り組んでおり、2021 年度は 24 年目にあたる。

今回は、上記 3 項目の内、「河川環境の改善」における盤ノ川橋脚下落差工の簡易魚道設置について進捗報告を行う。

1) 「盤ノ川橋脚下落差工簡易魚道設置」について

岩尾別川支流盤ノ川に掛かる勝利橋の橋脚（斜里町所管）の落差は約 2m であり、サケ科魚類の遡上障壁となっている。その下流約 400m に位置する 2 基の工作物（森林管理局所管：No. 3 及び No. 7 ダム）について森林管理局より最速で 2 年後の 2022 年度から改良に着手するとの発表が行われたことから、盤ノ川橋脚についても落差解消に向けた検討を進めた。

（写真 1, 2）

- ・ 当初、2021 年度は、試験的に仮魚道を設置する案で進めていたが、検討の結果、資材調達を含むコスト的にも次年度以降に予定していた簡易魚道の設置が可能と判断し、今年度秋に簡易魚道を設置する計画に変更を行った。（設置工法案等は 3 ページ以降参照）
- ・ 簡易魚道設置に当たっては、河川構造の専門家（北海道技術コンサルタント岩瀬氏）に依頼し、重機は使用せず市民参加型で設置可能な規模で設計を行った。実際の設置作業は、資材準備や許認可申請等を経て 9 月末の着工及び完成を計画している。
- ・ なお、資材として用いる角材や丸太材は、同運動の森林再生作業で発生したアカエゾマツ等の間伐材を活用する予定である。



写真 1. 盤ノ川橋脚（勝利橋）と落差工



写真 2. 落差工下のオショロコマとヤマメ（放流由来） *動画切り出し画像（加工有り）

表 1. 今後のスケジュール（年間）

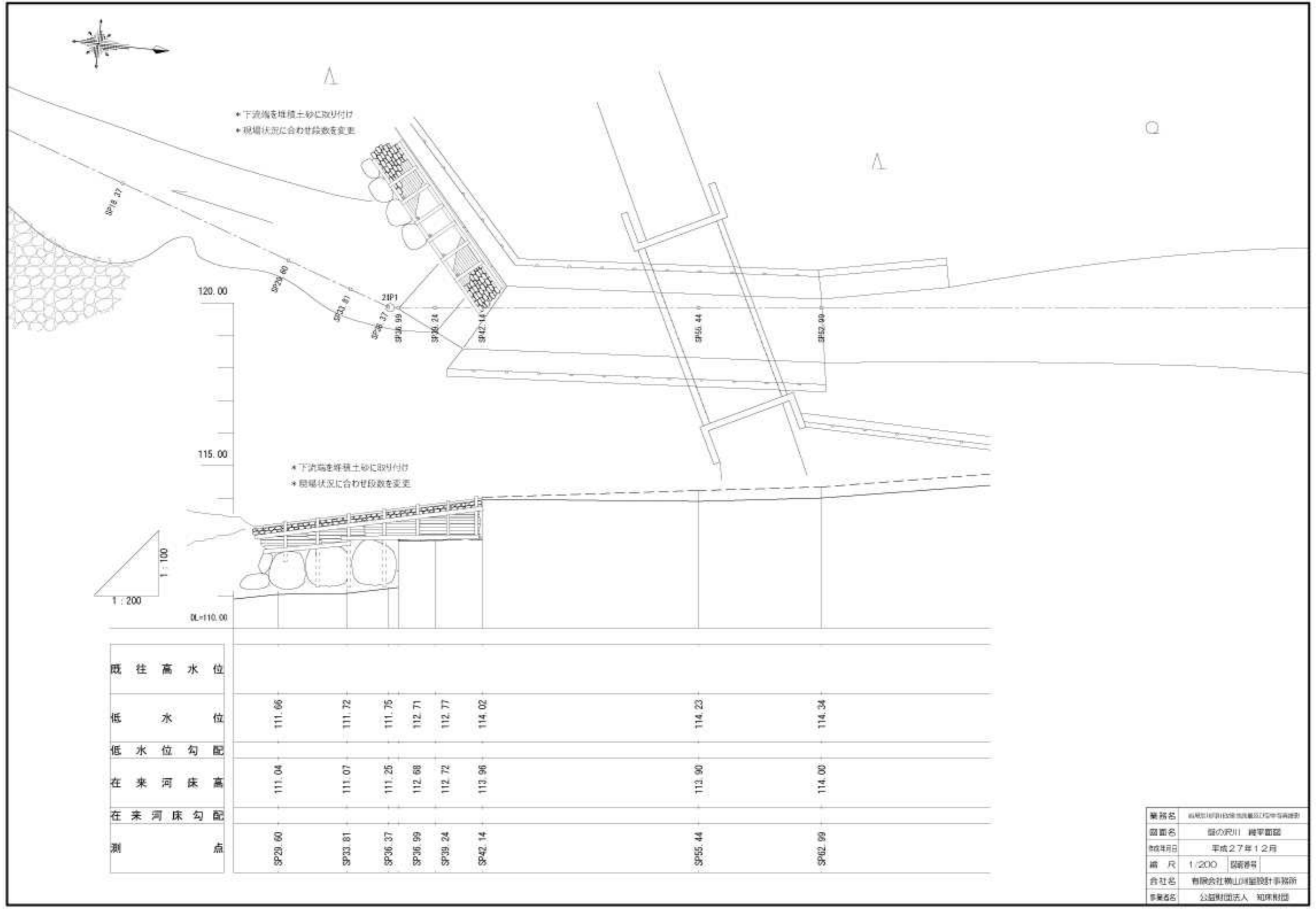
* 2020 年度第 2 回河川 AP 提出資料を改編

年度	森林管理局「No. 3 及び No. 7 ダム」	斜里町「橋脚下落差工」
2020	改良工法等の検討 2021 年 1 月の河川 AP にて協議	運動としての方針・計画を検討 左記の河川 AP にて方針・計画を報告
2021	実施設計	実施計画策定・資金調達 仮魚道試験 簡易魚道設置（市民参加型）
2022	改良工事開始（予定）	改良後のモニタリング・手直し 改良工事開始（※仮予定。下流工事による） 簡易魚道設置（市民参加型）
2023	仮：改良工事（2 年目）（予定）	改良後のモニタリング・手直し
202X	改良完了（予定）	↓ 数年間継続
以降	改良後のモニタリング（予定）	↓ //

表 2. 2021 年度のスケジュール

2021 年 4～7 月	実施計画策定・資金調達・設計
8 月	中旬：許認可申請（斜里町→環境省） 下旬：第 1 回河川 AP ボランティア募集 *注 1
9 月	上旬：改良前モニタリング（落差工上下流側の魚類生息状況確認。動画撮影等） 資材運搬等の事前準備 下旬：設置作業本番（1～2 日間程度想定）
10 月～	上旬～：改良後モニタリング・手直し
2022 年 1 月～	実施結果取りまとめ・次年度計画策定

*注 1：コロナ禍を鑑み、呼びかけ範囲については今後検討。



業務名	山形県河川改修事業(河川改修)の調査・設計業務
図面名	簡易魚道 縦断面図
作成年月日	平成27年12月
縮尺	1/200 図番
会社名	有限会社山形河川設計事務所
事業名	公益財団法人 河川財団

図1: 簡易魚道イメージ図(平面図・縦断面図)



図2：簡易魚道イメージ図（空中写真平面図）

+21000 簡易魚道イメージ図 付録

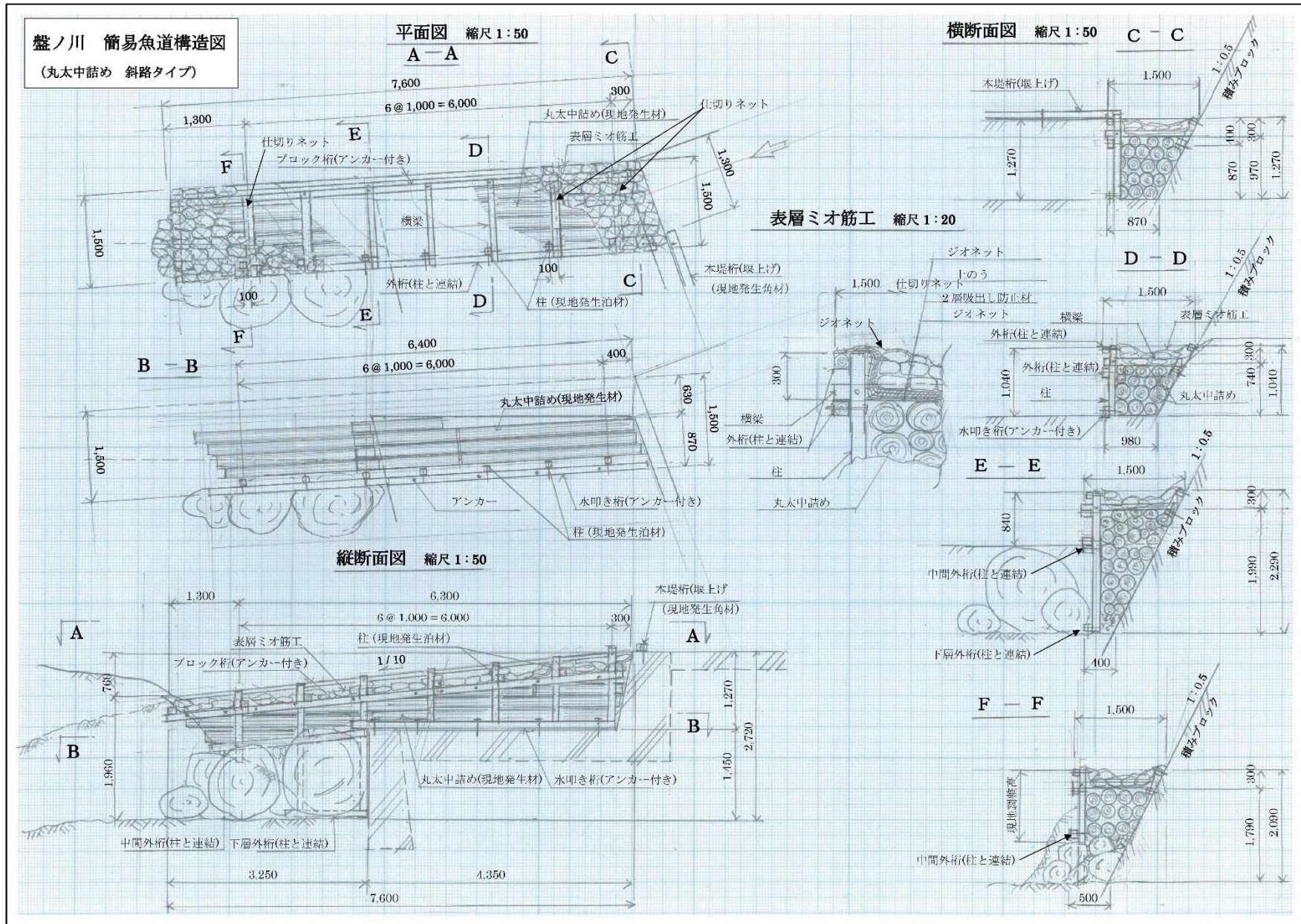
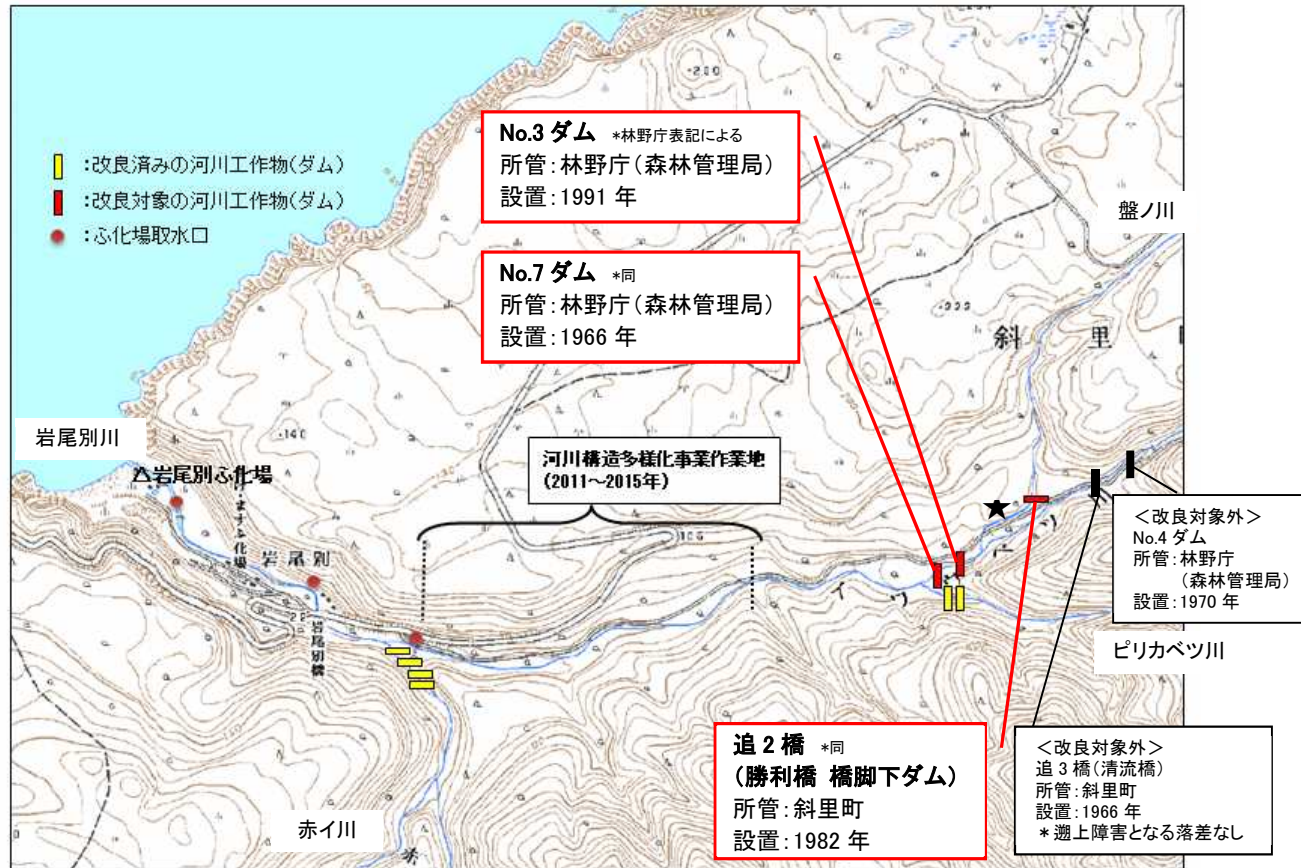


図3：簡易魚道構造図（一部抜粋）



★この道路右岸の流路については、現行の河道とは異なる。

図4: 岩尾別川における改良対象の河川工作物(ダム)位置